

大館市が担当する周辺整備の基
本設計については、十一月十八日
に発注しました。広葉樹の森を生
かした整備と共に、レストランや
売店、展示室機能を併せ持つパー
クセンター、駐車場、市民の憩い
のエリアなどの整備を考えている
ところです。

工事にあたっては、交通安全確
保をはじめ、騒音等にも細心の注
意を払って進めていきますので、
ご理解とご協力をお願いします。

今年の気象と 農作物について

今年は、七月、八月の異常高温

により全国的に干ばつが発生し、
市内でも、主水源を持たない山間
部や、水源施設が完備されていない
花矢地区と釈迦内地区で干ばつ
対策が講じられました。また、八
月三十一日の豪雨は長木川に集中
し、長木・花岡・下川沿地区の農
地や農業用施設の多くに被害が及
び、その復旧が急がれている現状
です。

水稲の作柄は、八月の高温によ
り登熟が急速に進んだことで、莖
数不足の稲は穂数不足につながっ
てマイナスになりましたが、穂数
が多いために倒伏した稲には幸い
し、予想以上の収量となりました。
米穀の出荷状況は、現時点で予約
限度数量対比一〇五
%です。

他の作物も、一部
で干ばつ被害が見ら
れたものの、総体的
には平年作を確保で
きたと思われま

企業誘致 について

ついで

誘致が決定してい
る「株式会社佐藤工
務店」については、
七年三月には市営二
井田工業団地用地の
売買契約が締結でき
る見込みになりました。
同社は、八年二

月に工場建設に着手。同年四月に
従業員を採用し、六カ月間首都圏
で研修を受けさせた後、十月から
操業を開始する予定です。

また、大館ドームの構造材とな
る秋田杉大断面集成材の生産と供
給を担う新会社「秋田グルーラム
株式会社」が、十月三日に設立さ
れました。

同社はドーム完成後も継続して
操業する方針で、将来は大断面集
成材メーカーとして国内最大規模
となる見込みです。進出予定地は、
市営花岡第二工業団地計画予定地
内の花岡町字七ツ館で、工場敷地
面積は約二万七千平方メートルを
予定しています。来春から工場建設に着
手し、七年六月からの操業を目指
しています。新規に雇用する従業
員は十八人程度の予定で、市では
誘致企業として位置付けたいと考
えています。この企業の進出が、
鉾山の灯が消えた花岡地区の活性
化と、米代川流域一帯の林業振興
に大きく寄与するものと期待して
います。

更に十一月二日には、「大館秋
田杉産直システム事業協同組合」
が設立されました。

この組合は、乾燥秋田杉の住宅
建築事業を首都圏へも進出させよ
うとするもので、設計に合わせた
部材の手配、構造材等の事前の切
り込み加工を行い、こちらの大工
が直接建設現場で構造部分の組み
立てまでを行う手法を採ります。



産直住宅第1号（神奈川県逗子市）

これらにより、木都大館のイ
メージの高まりと地場の秋田杉の
需要拡大、地元雇用の拡大が見込
まれますから、秋田グルーラムお
よび産直システム事業協同組合に
対し、市では今後も支援、協力し
ていきたいと考えています。また、
企業誘致にはこれからも鋭意努力
していきます。

大館ふるさと会について

数年来の懸案事項でした首都圏
在住者で組織する「大館ふるさと
会」の、結成総会が十一月六日、
東京の全電通労働会館で開かれま
した。当日はあいにくの雨天にも
かかわらず、東京を中心に約三百
三十人の出席があり、盛大な結成
総会となりました。

ふるさと会には、大館市にかか
りのある会員相互の親睦を図る
と共に郷土との交流を深めていた

だき、大館市の応援組織体として
活動していただくことになってい
ます。在京の皆さんには、これま
でも企業誘致などについてご協力
いただいてきましたが、今後は更
に、物産振興などを含めた幅広い
分野での協力も得られるものと大
いに期待しています。

特定行政庁について

建築確認事務に関する事務につ
いては、これまで北秋田土木事務
所大館出張所が処理していました
が、このほど県との協議が整い、
七年四月一日から本市が特定行政
庁として事務を取り扱うことにな
りました。このことから、市に建
築主事を置き、建築確認申請から
通知まで一連の確認事務を行うほ
か、住宅金融公庫融資に関する書
類の審査や完成検査についても市
が取り扱います。

この経験は、将来展望に立った
大館のまちづくりを進めるうえで、
大変意義のあるものになると考え
ていますので、よろしくご理解と
ご協力をお願いします。

その他の報告

▽公共事業の発注と進捗状況につ
いて

▽秋のまつり行事について

▽交通死亡事故抑止対策について

▽火災防止について